

2022(令和4)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会  
いがまち地域部会 議事概要

- 開催日時 2022(令和4)年5月18日(水)午後2時00分～午後3時48分
- 開催場所 伊賀支所 大会議室
- 出席者 (敬称略)

【委員】

出席：岡山 恵美子(柘植地域まちづくり協議会副会長)  
松山 宗達(柘植地域区長代表)  
奥澤 重久(西柘植地域まちづくり協議会会長)  
松島 秀生(西柘植地域まちづくり協議会副会長)  
落合 敏之(壬生野地域まちづくり協議会会長)  
奥井 周壘(壬生野地域区長会 会長)

【事務局】

交通政策課：課長 井上 忠生、主幹 坂森 荘平  
主査 稲森 紘子、主査 中川 達司  
八千代エンジニアリング株式会社：技術士 三上 和宏

- 傍聴者 4人

■会議概要

1. 開会 挨拶：交通政策課 井上 忠生課長
2. 部会長、副部会長の互選について  
(互選結果・敬称略)  
部会長 松山 宗達(柘植地域区長代表)  
副部会長 落合 敏之(壬生野地域まちづくり協議会会長)
3. 協議事項  
・新たな運行形態導入検討について  
事務局から資料1-1に基づき説明。  
委員から資料1-2に基づき意見を聴取。

【質疑応答】

事務局	①地域のみなさまの「外出手段」は、やはり車中心のスタイルでしょうか。またその場合、お年寄り等は、自分で運転、誰かの送迎・同乗等のどちらが多そうでしょうか。
部委員	私は壬生野地域の壬生野小学校の近くに住んでいる。家の前がバスの停留所になっており、バスの様子を見ていると昼間はあまり本数がない。朝は1、2人ぐらいが乗っており、夕方から夜は乗

	<p>っていない状況。私も、年に1、2回利用するが、新堂駅から帰宅する便には1、2人ぐらいが乗っている状況で、資料を見ても3年前から乗る人は増えていない状況である。</p> <p>また、壬生野から希望ヶ丘を通り大山田へ行く便があればという声も聞いた。個人的な意見であるが、病院や買い物へ行く分には、新堂駅でバスや電車を乗り継ぎ上野へも行けるため、不服はない。</p>
部委員	<p>外出手段の問題ですが、一番は目的だと思う。何のためにどういう交通手段を利用するか。いがまちは、JR、国道がある、スーパーもコンビニもある、病院、内科も歯医者もある。以前は、行政バスが網の目を細かくしながら運行していたと記憶しているが、だんだんと利用者が減ってくるなかで、網の目も粗くなっている。この状況のなか、行政バスを利用している人が少なくなっているのが現実である。</p> <p>目的に対して、交通弱者がどういう交通手段をとっているかという、家族に送迎してもらい病院に行くことがほとんどだと思う。</p> <p>行政バスは、公共交通の一番最先端の交通手段だと考えている。それを充実させるには、「目的は何ですか?」、「今どういう手段を使われていますか?」などのアンケートが必要。</p> <p>しかし、高齢者ばかりの家族になってきて75歳以上になると免許更新も高齢者講習がかなり厳しい、免許を返納しなければならない状況となった時に、行政バスが、どれだけ高齢者の移動手段になるかが重要だと思う。最低この路線だけは定時運行して走らせませす、あとのところはデマンドなどで走らせませすという方法が良いのではないか。</p> <p>あともう一つは、将来的な問題になるが、シニアカーや自転車が通れる歩道を自治体として確保する。これも大きな交通政策のひとつだと思う。子どもたちが自転車で歩道を走れる、そこへ高齢者がシニアカーで走って病院や買い物に行ける状況を創り出す。その前に、行政バスをしっかり走らせる。費用対効果を考え走らせたら1日の乗降人員が減ってきて、残すのかどうするのか?ということが出てくる。1日の乗降人員を言い始めると縮小しなくてはいけなくなる、乗降人員はとにかくとして、交通弱者といわれる免許を返納した高齢者や子どもたちが自由に買い物や学校にいける状況をこの地域で創り出すことが重要だと考えている。このことについて、行政はどう考えているのか。</p>
事務局	<p>定時定路線のバスは、ある程度の部分で必要だと考えています。いがまちのように真ん中に基幹の国道が走っている地域につい</p>

	<p>ては、定時定路線でしかできない路線もあります。そこに対して、今は、同じように定時定路線のバスが街中や集落に入っており、これをどうやって利便性を上げるのかというのが、これから検討して行くことだと思います。</p> <p>ひとつの大きな路線に、小さい路線で繋ぐのかどうかというのは、これから地域の中の話合いになるのではないのでしょうか。</p>
部委員	<p>そういうことは、住民にアンケートをとってほしい。</p> <p>廃止代替バスが走っているところは、行政バスは走れない。廃止代替バスは、本当は柘植駅まで走ってほしいが、新堂駅まで走り、あとは、枝線を行政バスがフォローして行くということにならないのか。</p>
事務局	<p>その時に、今の大きい車でいいのか、もう少し小さい車の方がいいのか、毎日運行するのか、そういったことを考えるためには、まずは、アンケートで皆さんの声を吸い上げてからになるのではないのでしょうか。</p>
部委員	<p>地域の皆さんの声を聞くことが重要なので、是非アンケートをしていただきたいと思う。</p>
部委員	<p>柘植地域は、柘植駅を中心にすべてを考えることが多い。行政バスも柘植駅を通過しており、柘植駅を利用される方もかなり多いので、そのことを考えて交通体系を検討いただきたい。</p> <p>過去5年間の行政バスの乗車人数を見たが、やはり利用しにくいのではないかと。支所の壁をとって交通体系を考えていただきたい、この4月から支所の業務が減り本庁へ行く住民の方も増えるのではないかと。支所から本庁へ行ける交通体系を創っていただきたい。</p>
事務局	<p>委員さんがおっしゃるとおり支所から本庁や市街地へ出ていく網と、そこまで行くための小さい網を検討していくためには、このような地域部会や住民自治協議会の意見を聞かせていただかなければならないと思っています。昨年度は、職員が実際バスに乗って利用者の声を聞いています。そして、どうしたら乗ってくれるかということ、利用する可能性のある方の声も聞かなければならない。そのためには、この地域部会が必要だと思います。</p>
部委員	<p>亀山は、免許を返納している方にタクシーチケット配布していると聞いたがどうか。</p>
事務局	<p>タクシーチケットはもう配布しておらず、代わりに今は「のりかめさん」という乗合タクシーを制度が新たに運用されています。</p>
事務局	<p>アンケートについては、住民の方々へ聞く場合、もっと詳しい内容を聞きます。このアンケートの項目は、地域のことを良く知っている役員の方など、皆さんに伺う内容となっています。知って</p>

	<p>いる限りで本日出席されている皆さんの意見を聞きたい。</p> <p>公共交通というのはどういうものかということであるが、公が支える交通という意味と不特定多数の人が誰でも乗れる交通という意味もあります。公共交通は、車に乗れない人のものだと地域の皆さんは思っていないでしょうか。車を持っていたら行政バスに乗らないとか、行政バスは、免許の持っていない高齢者や子どものためのものだと思っていないでしょうか。そういった風潮が地域にあるのでないでしょうか。乗る方が限定され、乗る方の選択で公共交通でなくなりつつあるというのが心配です。</p> <p>公共交通は、不便だと言われていましたが、このままであれば便利にしても誰も利用しないのではないかとこの心配があります。</p> <p>そのために、【②バス等を利用する人は、どのような「タイプ」の方、あるいは、どのような「目的」の方が中心でしょうか。】という項目があります。今バスを利用されている人はどのような人でしょうか。</p>
部委員	<p>私は、図書室で勤めている。柘植青葉台のお年寄りの方が、まずオークワへ買い物に行き、帰るバスの待ち時間で、図書室に寄り本を借りて、11時半のバスで自宅へ帰る。</p> <p>その方は、夫もいて送迎してもらえと思うが、本が好きで、自らバスで図書室へ来られる。</p>
事務局	<p>そういうことです。誰かに送迎してもらえたらバスがいらないということではなく、自分の意志で、自由に出かけるためにバスがあります。自分の目的のためにバスがあるべきなので、バスは交通弱者のためのものになっていないかということが心配です。</p>
部委員	<p>そうとは思っていない、飲み行くためにバスがあればバスに乗る。今の状況では、自由に行きたいところへ行けない。</p>
事務局	<p>お年寄り方以外でどのような方がバスに乗られていますか。</p>
部委員	<p>忘年会で利用する方や高校生が乗っている。</p> <p>10年後は、私たちも免許を返納しなければならないので、バスが必要になると思う。</p>
部委員	<p>全国でマイレージ制度を導入しているところはあるか。</p> <p>バスに乗ることによってポイントが貯まって、それを地域のスーパーで使えるといったことなど。</p>
事務局	<p>全国に事例はたくさんあります。お買い物に来たお客さんに、毎回帰りのバス代を割引しているところもあります。要は乗ってもらえたら便数を増やせます。</p>
事務局	<p>③バスが通っていても、「あまり利用されない理由」として、お気づきのこと、あるいは、お住いのみなさまから得られたご意見等があれば、お教えてください。</p>

部委員	時間が合わない、便数が少ない、便利であれば利用する。
事務局	④お住いのみなさまの「外出手段」に関し、「現在の困り事」、あるいは「近い将来の心配事」等について、地域で「話し合われたこと」があたりでしょうか。あれば、話題になったことや、みなさまから得られたご意見等の概要をお教えてください。
部委員	子どもたちの通学をどうするかということ話し合ったことがある。スクール混乗を月曜日と雨の日に乗るとかの話し合いをした。
事務局	⑥デマンド型の移動サービスは、お住いの地域に見合うと思われませんか。または、他に地域に見合うと思われる形態の移動サービス等のアイデアがありますか。理由等も含めてお教えてください。
部委員	行政バスをデマンドにした時に、子どもが減っているなかで朝から夜まで利用者のニーズすべてに対応するのは、車が何台必要になるかわからないし、デマンドは厳しいと思う。
部委員	デマンドというのはバスのことか。
事務局	デマンドにするかどうか決めていませんし、車両についてもバスとは決めていません。
部委員	私どもの意見よりも、区や住民個人の意見を聞いた方がいいのではないか。
事務局	モデル地域をこれから決めて、おっしゃってくれたように地区に入り込んでいく地域を今検討しています。2カ月以内に地域を決めたい、そのために島ヶ原やいがまち、阿山、大山田などの、それぞれの地域の代表の方に、地域のニュアンスを聞かせていただき、そして勝手ながらこちらでモデル地域を決め、その地域に入っていくと考えています。
部委員	このアンケートを事前に送付いただきたかった。先に貰っていれば、柘植には公共交通検討委員会があるのでその意見も聞けた。どうしても個人の意見となってしまう。
事務局	これからは事前に送付させていただきたいと思います。
部委員	細かいサービスが行き届くような公共交通にするには、小さい単位で考える必要がある。巡回バスのように乗るか乗らないかわからないものを走らせていても経費がかかるだけなので、運転手を65歳以上の一線を退いた方を地域のなかから探し、地域に密着した公共交通にしたほうが良いのではないか。
部委員	お買い物ツアーのバスが流行っている。病院とかオークワ、本庁など行き先別のバスを走らせてはどうか。その方が利用する人が多いのではないか。
部委員	例えば、市民センターの車はほとんど遊んでいる。その車を利用して良いのではないか。ボランティアで動かすのもひとつの方

	法。
事務局	たくさんのご意見を頂戴しました。各地域を回り終えるまで1カ月程度の時間があるので、お気づきの点等意見がある場合はこのアンケートに記入いただき、市民センターを通じて提出してほしいと思います。

#### 4. 報告事項

- ・ JR 関西本線について

事務局から資料2に基づき説明。

##### 【質疑応答】

部委員	<p>関西線の乗降人数が減っているのは前から言われていて知っている。JR 関西本線利用促進と電化を進める会の私（国鉄退職会伊賀支部長）もその会員のひとり。国鉄の時は、湊町から東京駅まで直通の列車が走っていた。ところが JR になって電化は加茂まで、亀山加茂間は電化ではなくディーゼルが走っている。それを電化してほしいと要望を JR 西日本にあげている。このことが大切。やはり悪循環を起こしている、加茂亀山間が電化となれば、まず加茂での乗り換えがなくなる、亀山は JR 東海なので亀山での乗り換えがひとつ発生するかもしれないが、もし発生しないのであれば名古屋まで一本の列車で行ける。そうなれば乗客、利用者ももっと増え、良い方向に転換するのではないかということで JR 関西本線利用促進と電化を進める会が意見をあげている。JR 西日本の意見はごもっともであるが、JR 西日本はそういう努力をしているのか疑問である。経費がかなり掛かると聞いている。昔、三重県は電化するための経費を試算したことがあると思う。そこまでやっているのに JR 西日本は、なかなか進めない。その悪循環が起きている。もうひとつ腹立たしいのは、地域公共交通の活性化再生協議会に JR は委員となっているが、本当に出席しない、私はそういう会社だと思った。電化すると変わると私は思う。その辺を行政から声を大に言ってほしい。</p>
事務局	<p>JR 関西本線利用促進と電化を進める会のウォーキングなどの利用促進の取り組みも継続しながら会員の方との話し合いの場も持ちたい。木津亀山同盟会という会の事務局も伊賀市が持っている。三重県が事務局の団体もあるので、そういった場で、役割をもって活動できるよう話し合いをしたいと考えている。</p>
部委員	<p>名神名阪連絡道が今進んでいる、国土交通省も力を入れている。しっかり自分たちの要望を出し、自分たちが取り組みをしっかりとやれば、世の中捨てたものではない、進んでいくということが実証されている。関西本線については JR 西日本を動かして行くべ</p>

	きだと思う。
事務局	やはり分社化された会社、国鉄から会社が分かれた弊害もあると思います。国の方にも、国鉄から民営化した時の元々あった鉄道の機能を維持していただく要望もあげてする必要があります。
部委員	柘植地域は、柘植駅あり方検討委員会で取り組みをしているが、同じ JR 西日本でも草津線は熱心であるが、なぜこちらはだめなのか。リニアが亀山にできる、滋賀県の方はそこに繋げたい。こちらは積極的ではない。

- ・ いがまち行政サービス巡回車の運行計画変更について

事務局から資料3に基づき説明。

【質疑応答】

部委員	これはありがたい。非常に良い変更だと思う。
-----	-----------------------

5. その他  
特になし

(終了)